



ゆう
友



ゆう
湯



かもめ
鳴

(仮称)

荒浜地区まちづくり協議会 会報 第3号

★巨理町の将来像★

思いやりの心で力を合わせ

安全で安心できる豊かなまち 巨理

発行日	平成 23 年 11 月 20 日
編集	荒浜地区まちづくり協議会
住所	巨理町荒浜字中野 33 (勤労青少年ホーム内) ※仮事務所 公共ゾーン南端の小さなプレハブ
電話	0223-36-8189 F A X 0223-36-8190
Email	wa.tukur i. ara@iaa. itkeeper. ne. jp

荒浜地区復興祭

とにかく、みんなでなにがやってみっぺ

東日本大震災で大きな打撃を受け、今は以前のにぎわいが影をひそめてしまった荒浜地区。

この状況の中で 10 月 23 日、

日曜日。ここ荒浜小学校体育館の周辺だけは、かつての荒浜地区の祭りを思い出させる賑わいがありました。いよいよ復興祭の始まりです。

プログラム第 1 番目は、荒浜出身の演歌歌手渡辺亮子さんの歌謡ショー。続いて荒浜小学校六年生の太鼓演奏、ノルディックウォーキング、ジャンケンゲームで楽しく過ごしました。午後は、婦人会の皆さんによって『いも煮』が振る舞われ、久しぶりの友達と会話が弾みました。

9 時 30 分頃から集まった方々は、盛況時には 600 人を超え、終始笑顔の絶えない復興祭となりました。



開会の挨拶をする
鎌田幸夫会長

みちのくの歌姫 渡辺亮子 歌謡ショー



『俵屋玄蕃』を熱唱する

渡辺亮子さん

開演の 1 曲目は、『俵屋玄蕃』。知る人ぞ知る、渡辺亮子さんの得意とする曲のひとつ。まさに”熱唱”の言葉通りの迫力で、会場の皆さんからの驚きと感激の大きな拍手が印象的でした。

この曲は、故三波春夫さんの曲で昭和 39 年の紅白で披露され広く知られるようになったとか。

約 60 分間のステージで、持ち歌の『北海しぶき』をはじめ、約 10 曲もの歌を聴かせてくれました。

歌の途中では、フロアに降りて皆さんと手を取り合いながら歌う姿に、惜しみない拍手が続きました。



”亮子ちゃん。無事でよかったね”

の声援で、思わず涙が……。『私の方が逆に励まされました』と、またまた、涙・涙でした。

荒浜小学校伝統の太鼓の演奏が復活



見事なチームワークと
軽やかなバチさばき

歌謡ショーに続いての登場は、荒浜小学校6年生の27名。荒浜小学校では、毎年6年生が下級生に太鼓の演奏技術を継承しており、東日本大震災の時は、体育館で太鼓の練習中でした。この大震災による津波で太鼓が流されてしまいましたが、その後、全部の太鼓の革を張り替え修理に出して、戻ってきたのが夏休み直前でした。「まちづくり協議会から荒浜復興祭で太鼓の演奏を依頼されたときは、練習不足でとても演奏できる状況ではなかった」と、その時の様子を高橋校長先生から話して頂きました。「だから、1曲だけならという約束しかできなかったのです」と続けてくれました。今回の荒浜復興祭のメインは、荒浜地区の人たちが地元が集まって話をする機会を作り、さらに、逆境にも負けないで頑張る元気な子供達を荒浜地区の皆さんと共に見守ることにありました。

さあ、いよいよ荒浜小学校6年生による太鼓の演奏です。1曲目は、伝統の曲『ぶちあわせ太鼓』。27名の子供たちの迫力満点の演奏で、会場のみんなが息をのみ、動く人すらなく、ただただ演奏に聴き入っていました。また、演奏の途中で打ち手や打ち方が変わっても、流れるようなチームワークと軽やかなバチさばきで努力の成果を披露してくれました。1曲目終了と同時にものすごい拍手が起こりました。2曲目は、『友響』という曲で、この曲も演奏の分担が変わり、踊りや決めの動作も加わり、聴いている人たちを楽しませてくれました。演奏が終わり、子供たちの顔は、緊張から解放された笑顔と、無事に演奏が出来たことの充実感でとても輝いているように見えました。



演奏の依頼を受けてから、余程練習したのでしょう。約束よりも1曲多く練習して、しかも祭りで演奏できるまで頑張ってくれた小学生の皆さんにお礼と大きな拍手を送ります。どんな支援物資よりも、あなたたちの演奏が最高の贈り物でした。ありがとう。

ジャンケンポン！

景品いっぱいゲットしたぞ〜！！

『いいな〜！ 私はまた負けた。』
『少しちょうだいよ。』 『だ〜め。』
『かわいそうだから、少しあげっか。』



“あち〜” “んめ〜”

『おいしいね ♡』『うん。うん。』
『また、食べたいね』『うん。うん。』

また、来ようね ♡

荒浜小学校学習発表会

～心をひとつに一人一人輝こう～



1年生「じゅんばんんどレミで」の劇を元気に発表



「感謝をこめて」心のこもった6年生の合唱・合奏

荒浜小学校の学習発表会が11月12日土曜日、逢隈小学校体育館で行われました。

1年生は初めての学習発表会でとても緊張していました。各学年とも、とても立派に発表したと思います。全校合唱「ビリーブ」の綺麗な歌声に続き、1年生の劇「じゅんばんんどレミで」、2年生のオペレッタ「こびととくつや」、3年生の劇「アイウエオリババ」、4年生の合唱・合奏「風のカーニバル・荒浜えんころ節」、5年生の劇「三まいのおふた」、6年生の合唱・合奏「歌よありがとう」「コンドルは飛んで行く」、和太鼓「友響」、そして最後に6年生からの終わりのことばで幕を閉じました。



今年度は例年より1ヵ月ほど遅い発表会でしたが、どの学年も力を合わせ、一生懸命練習に励んできました。6年生にとっては、これが小学校生活最後の学習発表会になりましたが、一人ひとり、様々な思いを乗り越え、この日の発表会を迎えたものと思います。子供たちの胸には、この日の事は、忘れられない思い出として残ることでしょう。また、少ない練習時間でも真剣に取り組み、素晴らしい発表ができた事は大きな自信になり、今後の学校生活に役立つものと思います。（佐久間教頭先生）
荒浜小学校の皆さん、心のこもった素晴らしい発表会でした。ありがとうございました。

ここはどこ？ 知っていますか？

お社が流されてしまった黄金嶋神社（三丁目）



今は、鳥居しか残っていませんが、由緒ある昔の面影が偲ばれます。

修復するには、まずみんなの願いがあらば……。



浪切地藏尊（四丁目）
地元の人達は、とても信心深く大切にしてきました。

毎日の巡回、 お疲れ様です！

亙理警察署 荒浜駐在所長の
高荒貞一 巡査部長さん

3月11日の震災までは荒浜
駐在所勤務でした。

駐在所が被災し、現在は亙理
警察署の地域課勤務です。



日々、パトロールをしながら
地域の治安を守っている高
荒巡査部長さん。

震災以降は仮設住宅を巡回
し、特にコミュニケーションを
大切にしているとのこと。

「安心・安全なまちづくりをモ
ットーに、皆さんの生活を守
っていきます」

ご存知ですか？

「ハマボウフウ」



ハマボウフウの花

ハマボウフウは、和え物、おひ
たし、酢の物、雑煮のあしらい
や、刺身のつまなどの日本料
理には欠かせない高級野菜の
ひとつです。栽培品種が主流。
昔から、庶民の漢方薬としても
重用され、乱獲に拍車をかけま
した。現在は自生していない。

古来より海岸の砂地に自生するセリ科の多年草です。
海岸の浸食や砂地への車の乗り入れ、食用や薬用と
しての乱獲などのため激減し、現在は宮城県の絶滅
危惧種第三類に指定されています。



絶滅寸前の 浜ぼうふう

なんと！ 荒浜海水
浴場近くの砂浜に1株
だけ残っていました。

宮城県内には名取市と七ヶ浜町に保護育成
の団体があり、それぞれ活動しています。
荒浜地区では有志のメンバーが、数年前か
らハマボウフウの保護育成を通じて「美しい
ふるさとの海岸を再生しよう」と、種から育て
たハマボウフウの苗を海水浴場の砂地に移
植してきました。ところが、3月11日の津波
で苗も種子も流されてしまいました。しかし、
メンバーの志は変わらず、荒浜の復興に合
わせて、砂浜に再度ハマボウフウを移植す
ることを継続していきたいと思っています。
あなたも、ぜひ一緒に、ハマボウフウの
保護育成のための活動を試みませんか？
興味をお持ちの方は、まちづくり協議会へ
ご連絡ください。お待ちしております。

会報の名称とシンボルマークを 募集しています！

2012年2月9日(水)までに荒浜地区まちづく
り協議会までご応募ください。

事務所にきていただけましたら大歓迎！
お待ちしております。

事務局から、お詫びと訂正のお願い

会報第2号のEmailアドレスにミスがあ
りました。大変申し訳ございません。
お手数をお掛けしますが、ご訂正お願い
いたします。

誤 wa.tukuri.ara@iaa.itkeeper.ne.jp

正 wa.tukuri.ara@iaa.itkeeper.ne.jp

※正しくは、@マーク前のドットが不要で
す。

